

平成二十年四月一日提出
質問第二四六号

チベット情勢についての政府の認識等に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

チベット情勢についての政府の認識等に関する質問主意書

一 チベットにおいて本年三月十日の僧侶によるデモ行進が起こり、それが契機となり同月十四日には大規模な暴動へと発展し、現在も動乱（以下、「チベット動乱」という。）が続いていると承知するが、チベット情勢の現状について政府、特に外務省はどのような認識を有しているのか明らかにされたい。

二 世界各国の首脳は「チベット動乱」についてそれぞれ積極的な見解を表明しているが、我が国政府、特に福田康夫内閣総理大臣が「チベット動乱」について消極的な見解しか表明していないのはなぜか。

三 「チベット動乱」が起きてから、政府、特に外務省は邦人保護の観点からどのような対応をとってきたのか説明されたい。

四 「チベット動乱」について政府、特に外務省は中国側に対して①誰が、②いつ、③どのような方策をもって、④どこで、⑤どのような意見を伝えたのか、それぞれ明らかにされたい。

五 「チベット動乱」が起きてから中国政府が手配したチベット自治区ラサへの視察に和田充広在中国日本公使が参加したと承知するが、和田公使から視察について外務本省にどのような報告があったのか説明されたい。

六 和田公使は五の視察から戻った本年三月二十九日、記者団に対して「チベット動乱」についての中国側の説明は不十分である旨述べたと承知するが、政府、特に外務省は右の和田公使の認識と同様の認識を有しているか。

七 「チベット動乱」に対して、今後我が国としてどのような対応をとっていく考えでいるのか説明されたか。

八 かつてソ連がアフガニスタンに侵攻した際、政府はモスクワオリンピックをボイコットしたが、「チベット動乱」を受けて、政府、特に外務省は北京オリンピックへの対応についてどのような考えを有しているのか明らかにされたい。

右質問する。